

行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方
 （令和２年３月24日会議資料）

その他	日本一「中野市」のアピールについて	
	意見・提言等	市の考え方
	・「シャクヤク」や「ちょうげんぼう」など誇れる中野市がありますが、市民に浸透していないのではないかと？	（庶務課） ・中野市を象徴とする花や木や鳥は、市民に愛され親しまれるとともに、まちづくりに役立てていきたいと考えております。 ・そのため、市では、平成 20 年に中野市の花・木・鳥を制定し、本市のシンボルとしました。 制定に伴い、多くの人に愛され親しまれるよう記念事業などを実施し、現在も、なかのバラまつりやチョウゲンボウ探鳥会などの事業を継続して行っています。

その他	日本一「中野市」のアピールについて	
	意見・提言等	市の考え方
	・先日、中野市豊田の球場が放映されました。せっかくの日本一の球場です。市民のイベントや運動会等の縮小が続いています。日本一の球場で総踊りや綱引き等企画できないかと？ ※2020年2月27日午後1時～放映 NHK「ごごナマ」より	（文化スポーツ振興課） ・中野市営豊田野球場がテレビの情報番組で「日本一広い球場」として紹介されたのですが、現在は、子どもから大人までの様々な野球大会等の他、その広さを活かして信濃グランセローズのファン感謝デーや公民館分館の運動会などでも利用されています。 ・ご意見にあったようなイベントは特に考えておりませんが、今後イベントを企画する際、参考にさせていただきます。

その他	
意見・提言等	市の考え方
池田茂中野市長は新年のご挨拶で「健康長寿のまち」を宣言し、「健康長寿日本一を目指し諸施策に取り組んで参ります。」とあるが、諸施策とはどんな内容か。	(健康づくり課、高齢者支援課) 中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の第1期において、「確かな暮らし実現戦略～安全安心・健康長寿のまちづくり～」を、基本目標の4とし、「健康長寿日本一を目指すまちづくり」として、健康づくりの推進事業等、「高齢者や障がい者が地域で共生できるまちづくり」として、地域支援事業（介護予防事業）等を具体的施策として取り組んでいます。

その他	
意見・提言等	市の考え方
・町田博文市議は「老人クラブの会員増加策について」の質問をされていますが、市長答弁の中で、「方策を研究していく」「行政としてどんな手だて・施策があるかを検討した上で」とあるが、どんな方策を研究されたか、どんな手だて・施策があるのか、検討された内容は。 ・老人クラブの補助金申請をもっと簡素化できないか。 わずかな補助金の交付に留まっているにも関わらず、単位老人クラブに対して毎年仔細な事業計画書・予算書及び事業報告書・決算書の提出を求められており過度の事務負担となっている。極めて市財政の逼迫している現状からするならば補助金の額が多く望めないが県・国の補助金を利用し、増額できないか。（一人当たり 300 円を受けて 250 円市老クへ支払うと活動費は少額） ・年々会員の減少に歯止めがきかず又役員の引き受け手がなく、休会、解散という形になってしまい、老人クラブの存在そのものが消滅してしまう状況にあり老人クラブ独自の打開策もなく老人クラブだけの問題ではないと思うが、どう考えたらよいか。 老人クラブは地域の中で支え合って、地域と共に歩むため必要だと思いますが、必要かどうか。	（高齢者支援課） ・老人クラブ活動は、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし、明るく活力のある長寿社会の実現に向け、必要な組織であると認識しています。 ・市広報等で活動内容を紹介して、新会員の加入促進をして参ります。 ・補助金の取扱をより明確にするとともに、活動加算を取り入れることに伴い、補助金の事務手続きを変更したものであります。 今後とも懇切丁寧な対応を行ってまいります。 ・老人クラブの活動をPRし参加して頂くよう、老人クラブと共に会員増加に向け、社会福祉協議会と連携を図りながら、老人クラブ活動の支援を実施して参ります。

その他	
意見・提言等	市の考え方
・「帯の瀬ハイツ利用料の減免について」減免の条件に「70 歳以上の者である場合に限る」とあるが、なんで制限があるのか。(70 歳前にリタイヤした人もいる。人生 100 年時代に入ったからか)	(農政課) ・中野市農村環境改善センター条例及び同管理規則により使用料が決定されております。 ・中野市では、2019 年(平成 31 年)2 月に「受益者負担の適正化に関する指針」を制定し、施設等の使用料の減免について、統一的なルールを設けました。 ・当施設も、この指針に基づき減免基準を規則に規定し、施設の管理運営にあっております。 ～受益者負担の適正化に関する指針 抜粋～ (2)団体利用による減免 免除・・・市内の団体で、すべてが市内の70歳以上の者で構成する公共的団体または非営利活動団体が高齢者福祉目的で使用する場合 減額・・・市内の団体で、半数以上が市内の70歳以上の者で構成する公共的団体または非営利活動団体が高齢者福祉目的で使用する場合

その他	
意見・提言等	市の考え方
・2020 年の当初予算の発表がありました。歳出の人件費が令和元年度と比べて 42.3%の増ということです。増額について説明をお願いします。	(財政課) ・嘱託職員や臨時職員について、令和 2 年度からは会計年度任用職員となり、「物件費」に区分していたものも「人件費」に区分することとなったためです。

その他	
意見・提言等	市の考え方
・集中改革プランの、小学校の跡地利用について 12 月に市民のアイデアの概要が発表されましたが、サウンディング市場調査の結果と庁内でどんな検討がされているのか。 ・また実際に利用する場合には、様々な交渉や誘致等が必要な場合があります。アイデアを実現するためにも担当課と地元組織が調整しながら地域にあった有効利用を検討していくことは可能か。	(政策情報課) ・サウンディング型市場調査については、参加者が 4 社と少なく、現時点では 5 小学校の市場性を判断するには材料不足であると考えております。 今後は、市民アイデア等を参考にしながら、企業ヒアリングなどの市場調査を引き続き実施して参ります。 ・利活用の検討につきましては、市民や各地域のご意見をお聞きしながら検討して参ります。

その他	
意見・提言等	市の考え方
- 中野市バイオマス産業都市構想について大変期待しています。大量のキノコの廃培地を利用したバイオガス発電。果樹の剪定や、里山再生のための計画樹木伐採から得た木質バイオマスで発電し、市内で使用する電気を自給自足できるくらいの先進的都市として発展的に考えていただきたい。（スウェーデン、ベクショー市 参考） ※実現してゆく中で考えたいことは ○廃培地の臭いの問題。 ○里山の樹木の計画伐採は、鳥獣とのすみわけができる里山を再生できると考えます。 - 構想では新規雇用創出人数が20人とありますが、伐採樹木をトン単価で受け入れ、搬入者の小遣い稼ぎになることと、木質バイオマス原料が集まる。とにかく市内でのすそ野を広げていただき、特定の方だけでなく、様々な人がかかわれる仕組みを作っていただきたい。 - 施設は、閉校の小学校の跡地を拠点として使用できないか。	（農政課） - 本市のバイオマス産業都市構想に期待を寄せていただきありがとうございます。 - 中野市バイオマス産業都市は、資源循環型社会の形成、災害に強いまちづくり、きのこや果樹園芸を中心として総合的な産業振興を目指すことを目的に策定したものです。 - 具体的な事業実施につきましては、民間の持つ技術と経験を最大限に発揮していただくことで、効率的かつ迅速に循環型社会の形成に繋がるものと考えており、本市はその事業について、事業全体の調整や財政面を始めとしたサポートを全力で実施して参ります。 - 事業者との調整において、ご意見にある廃培地の臭い、創出される雇用創出効果、プラント建設場所などを含めた事業実施における課題や効果の確認、指導を行って参りたいと考えております。 - 閉校となる小学校の跡地利用につきましては、利用したい方があれば検討して参ります。